



目次

◆事務局からのお知らせなど..... 1
 ■モニタリングサイト 1000 陸生鳥類調査 研修・交流会（オンライン）のご案内..... 1

■ヨシゴイの繁殖状況に関する全国アンケート調査にご協力をお願いします..... 1
 ■会員数..... 2

◆事務局からのお知らせなど

■自然保護室より

■モニタリングサイト 1000 陸生鳥類調査 研修・交流会（オンライン）のご案内

当会が事務局を担当しておりますモニタリングサイト 1000 陸生鳥類調査の研修・交流会を下記のとおり開催します。モニタリングサイト 1000 の長期的な調査を継続するためには、調査員の皆様の継続的なご協力が欠かせません。今年度も調査方法の研修、調査員の交流を兼ねた研修・交流会をオンライン（オンライン会議システム Zoom を使用）で開催します。パソコン等とネット環境があれば、全国どこからでも参加することができます。調査員以外の方のご参加も歓迎ですので、多くの会員の方にお知らせいただき、ご興味のある方はぜひご参加ください。申込が必要となりますので、下記 HP よりお申込みください。

なお、昨年の研修会の様子はウェブサイト（<https://www.youtube.com/watch?v=dLVIAjjEm8>）でも公開していますので、ぜひご覧ください。

- モニタリングサイト 1000 調査研修会
- 【主催】日本野鳥の会・バードリサーチ
- 【開催日時】2021年12月12日(日) 13:00-16:00
- 【詳細・申込HP】

<http://www.bird-research.jp/1/moni1000/>

【内容】

- ・モニタリングサイト 1000 事業の概要と成果
- ・モニタリングサイト 1000 の調査の方法
- ・模擬調査実習
- ・意見交換

【お問い合わせ先】

日本野鳥の会 モニタリングサイト 1000 担当
 〒141-0031 品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル
 TEL: 03-5436-2633 (13-15 時) FAX: 03-5436-2635
 E-mail : moni@wbsj.org

(自然保護室/葉山政治・奴賀俊光)

■ヨシゴイの繁殖状況に関する全国アンケート調査にご協力をお願いします

当会では、絶滅のおそれのある野鳥の保護と、その生息地の保全に取り組んでいます。現在、北米やヨーロッパでは草原性鳥類が大きく減少していることが報告されており、日本でもシマアオジ、オオジシギやチュウヒ、アカモズなど草原性鳥類の減少が報告されています。ヨシやガマなどの湿性草地を主な繁殖地とするヨシゴイも例外ではなく、環境省のレッドリスト 2020 では準絶滅危惧(NT)として扱われていますが、都道府県版のレッドリストによると 1992 年以降に 10 年毎に比較してみると、2001 年以前では 17%の都道府県でレッドリストに入っていますが、2002-2011 年では約 57%、2012-2021 年では約 64%が都道府県のレッドリストで絶滅危惧 I 類、II 類になり、全国的に絶滅のおそれが高まっていることが推測されます。

これまでに財団事務局には、福岡県では現在 3 か所の繁殖地しかなく、そのうちの一つに埋め立て計画があること、また、愛知県では唯一の繁殖地が消失し、県内での繁殖がなくなったこと等の情報が寄せられています。

ヨシゴイは、発見がしづらく観察しにくいことから生息状況がつかみにくい鳥の一つですが、このままでは地域個体群の減少や絶滅が起きてしまう可能性があります。そこで、このたび財団事務局では全国でのヨシゴイの繁殖状況の現状を把握するために、緊急にアンケート調査を行なうことにしました。

つきましては、支部の皆さまがふだん活動されているエリアで、ヨシゴイの繁殖が確認されているところ、または、繁殖の可能性のあるところの現状と推移に関して、下記のアンケート調査へのご協力をお願い致します。

【アンケート項目(抜粋)】

- (1) 所属連携団体(支部)が活動されている範囲の中で、ヨシゴイの繁殖地はありますか？
- (2) ヨシゴイの繁殖地はどこですか？ 場所名や河川名、湖沼名等をできるだけ詳しくお書きください。また、もし分かればそれぞれの場所の繁殖つがい数もお書きください。
- (3) ヨシゴイの繁殖環境について、わかる範囲で結

構ですので、当てはまるものに○をお付けください。

- ・ヨシ原・ガマ、フトイなど抽水植物の自生地
- ・浮葉植物の自生地・沈水植物の自生地
- ・その他

(4) ヨシゴイの繁殖数はわかりますか？ わかる範囲で結構ですので、ご記入ください。

(5) 情報をお寄せいただいた現在のヨシゴイの繁殖環境に、今後懸念されることはありますか？

①ヨシゴイへの影響として考えられるものは何ですか（それぞれの項目について1つずつ選択）

- ・繁殖地の消失・減少・環境悪化
- ・個体またはつがいの消失・減少・他の場所への移動

②繁殖環境への影響として具体的に考えられるものを選択ください（複数選択可）

- ・草地埋立・草地伐採・裸地化・樹林化・湖沼池の被覆・土砂流入・水質汚濁・餌資源の減少・捕食者の増加・繁殖地周辺のロードキル・人による攪乱(釣人、カメラマン等)

※アンケートの詳細についてはアンケート用紙をご覧ください。また、ご記入の際にはアンケート用紙(ワード)を下記よりお手元のパソコンに一度ダウンロードしていただいてから、ご記入をお願いいたします。記入後の送付は、Eメール、FAX、郵送のいずれでも結構です。

【アンケート用紙ダウンロード URL】

https://www.wbsj.org/files/yb-questionnaire_2021.docx

【本アンケートの問い合わせ先・返送先】

〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル
 (公財) 日本野鳥の会 自然保護室 担当：山本
 TEL: 03-5436-2633(13-15 時) FAX: 03-5436-2635
 E-mail: hogo@wbsj.org

(自然保護室/田尻浩伸・山本裕)

■総務室より

■会員数

10月1日時点の会員数は33,525人で、先月と比べ55人減少しました。

9月の入会・退会者数(表1)をみますと、入会者数は退会者数より38人少なくなっています。

入会者数は111人で、前年同月の入会者数116人と比べ5人減少しました。

また、退会者数は149人で、前年同月の退会者数159人と比べ10人減少しました。

なお、会員の増減は入会者数と退会者数のほかに、会費切れ退会となった後に会費が支払われ会員として復活した人数によって決まります。

表1. 9月の入会・退会者数

	入会者数	退会者数
個人特別会員	6 人	8 人
総合会員(おおぞら会員)	25 人	44 人
本部型会員(青い鳥会員)	22 人	25 人
支部型会員(赤い鳥会員)	37 人	41 人
家族会員	21 人	31 人
合計	111 人	149 人
年度累計	1,088 人	※

※会費切れ退会となった後に会費が支払われ会員として復活する方がいらっしゃるため、退会者数の年度累計は、実際の退会者数とずれた数字となります。

●都道府県および支部別会員数

野鳥誌贈呈者数を除いた数を掲載します。

表2 都道府県別の会員数(10月1日時点)

都道府県	会員数	前月比
北海道	1,630 人	-1 人
青森県	233 人	1 人
岩手県	362 人	-1 人
宮城県	511 人	1 人
秋田県	253 人	0 人
山形県	220 人	2 人
福島県	544 人	-5 人
茨城県	813 人	-9 人
栃木県	714 人	-1 人
群馬県	590 人	0 人
埼玉県	1,967 人	0 人
千葉県	1,490 人	-1 人
東京都	4,610 人	-12 人
神奈川県	3,192 人	-11 人
新潟県	361 人	2 人
富山県	191 人	-1 人
石川県	278 人	-2 人
福井県	214 人	0 人
山梨県	260 人	-2 人
長野県	825 人	5 人
岐阜県	461 人	-1 人
静岡県	1,228 人	-6 人
愛知県	1,524 人	-2 人
三重県	431 人	1 人
滋賀県	296 人	-2 人
京都府	792 人	-2 人
大阪府	1,904 人	-3 人
兵庫県	1,260 人	0 人
奈良県	473 人	-2 人
和歌山県	200 人	0 人
鳥取県	217 人	2 人
島根県	203 人	0 人
岡山県	536 人	-1 人
広島県	575 人	3 人
山口県	332 人	0 人
徳島県	305 人	-1 人
香川県	181 人	1 人

愛媛県	337 人	0 人
高知県	113 人	-2 人
福岡県	1,222 人	-1 人
佐賀県	191 人	0 人
長崎県	218 人	1 人
熊本県	380 人	-1 人
大分県	215 人	-1 人
宮崎県	241 人	-2 人
鹿児島県	318 人	2 人
沖縄県	84 人	-1 人
海外	9 人	0 人
不明	21 人	-2 人
全国	33,525 人	-55 人

備考：不明は転居先が不明の会員を示します。

表3 支部別の会員数（10月1日時点）

支部	会員数	前月比
才ホーテック支部	252 人	1 人
根室支部	75 人	1 人
釧路支部	145 人	0 人
十勝支部	167 人	0 人
旭川支部	77 人	0 人
滝川支部	42 人	0 人
道北支部	26 人	0 人
江別支部	21 人	0 人
札幌支部	297 人	-1 人
小樽支部	59 人	0 人
苫小牧支部	151 人	1 人
室蘭支部	132 人	-1 人
道南檜山	63 人	0 人
青森県支部	116 人	0 人
弘前支部	115 人	1 人
秋田県支部	245 人	1 人
山形県支部	193 人	2 人
宮古支部	81 人	1 人
もりおか	154 人	0 人
北上支部	96 人	-2 人
宮城県支部	480 人	1 人
ふくしま	143 人	-1 人
郡山支部	151 人	-2 人
白河支部	27 人	0 人
会津支部	56 人	-2 人
奥会津連合	8 人	0 人
いわき支部	88 人	-1 人
福島県相双支部	16 人	0 人
南相馬	15 人	0 人
茨城県	728 人	-10 人
栃木県支部	677 人	-1 人
群馬	512 人	1 人
吾妻	44 人	0 人
埼玉	1,448 人	-2 人
千葉県	902 人	-2 人
東京	2,598 人	-9 人
奥多摩支部	754 人	2 人

神奈川支部	2,126 人	-7 人
新潟県	268 人	-1 人
佐渡支部	36 人	0 人
富山	173 人	-1 人
石川	260 人	-1 人
福井県	210 人	1 人
長野支部	405 人	3 人
軽井沢支部	166 人	1 人
諏訪支部	221 人	2 人
木曾支部	21 人	1 人
伊那谷支部	70 人	0 人
甲府支部	184 人	-1 人
富士山麓支部	56 人	-1 人
東富士	61 人	0 人
沼津支部	140 人	-1 人
南富士支部	230 人	-1 人
南伊豆	37 人	0 人
静岡支部	317 人	-2 人
遠江	370 人	-2 人
愛知県支部	1,135 人	2 人
岐阜	447 人	0 人
三重	370 人	0 人
奈良支部	410 人	-1 人
和歌山県支部	206 人	0 人
滋賀	290 人	-3 人
京都支部	736 人	-2 人
大阪支部	1,753 人	-1 人
ひょうご	960 人	-3 人
鳥取県支部	230 人	1 人
島根県支部	193 人	0 人
岡山県支部	511 人	-1 人
広島県支部	489 人	3 人
山口県支部	308 人	1 人
香川県支部	140 人	1 人
徳島県支部	326 人	0 人
高知支部	100 人	2 人
愛媛	312 人	-4 人
北九州支部	259 人	-3 人
福岡支部	532 人	1 人
筑豊支部	223 人	-1 人
筑後支部	160 人	0 人
佐賀県支部	238 人	0 人
長崎県支部	209 人	1 人
熊本県支部	368 人	-2 人
大分県支部	203 人	-2 人
宮崎県支部	232 人	-2 人
かごしま県支部	299 人	4 人
やんばる支部	53 人	-1 人
西表支部	43 人	0 人
	28,240 人	-42 人

備考：支部別の会員数の合計は、都道府県別の会員数の合計と異なります。これは、本部型（青い鳥）会員や支部に所属されていない個人特別会員が支部別の会員数に含まれないためです。（総務室／三浦 岳志）

◆支部ネット担当より

いつも支部ネット通信をご愛読いただきありがとうございます。
ございます。

先日、実家の小さな庭を手入れしていると、数株あるホトトギスが花を咲かせていました。しかし何だか葉が少ない。近づいてみるとトゲトゲの体をしたルリタテハの幼虫が元気に葉っぱを食べていました。また、近くの木では、エナガが何やら食事中でした。剪定作業をしつつ身近な自然を楽しめたひと時でした。

朝晩は冷え込む日も出てきました。体調を崩されないようお過ごしください。

日本野鳥の会

支部ネット通信

2021年10月号・通巻237号

◆発行

公益財団法人日本野鳥の会 2021年10月25日

◆担当

総務室 総務管理グループ

五十嵐真/林山雅子/松井華奈/原元奈津子/萩原洋平
〒141-0031

東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル

TEL : 03-5436-2620

FAX : 03-5436-2635

E-mail : sibu-net@wbsj.org
